

第66回国民体育大会ハンドボール競技御礼

このたびの山口国体に際しましては皆様より多大なる協賛をいただき、無事大会に参加することができました。選手は精いっぱい戦いをしてくれましたが残念ながら参加3種別とも、善戦空しく初戦で敗退いたしました。

ご協賛の御礼とともに、今後とも宮城県のハンドボールの振興発展のためご支援頂けますようお願い申し上げます。

大会結果

成年女子

茨城県 31 (16-15 15-8) 21 宮城県

少年男子

愛知県 40 (20-10 20-16) 26 宮城県

少年女子

香川県 30 (13-11 17-8) 19 宮城県

協賛金振り込み御礼

以下の皆様に協賛金の振り込みをいただきました。御礼申し上げます。

2口

チダフミヒコ ミウラノボル イチカワノリコ

1口

コイズミヒロシ ミタニカズノリ コバヤシオサム サイトウサヤカ モリヤマサル
ナカジマカズオ フクダシン タカハシトシジュ ニシヤマタケオ
ミヤギケンチュウタイレン

以下 戦評です。

ハンドボール

No 22

第66回国民体育大会 ハンドボール競技 試合結果・戦評報告書

競技日	10月7日(金)	試合番号	C-い[C2]	回戦	1回戦
種別	成年女子	会場	キリンビバレッジ周南総合SC(C)		

Aチーム名			Bチーム名		
茨城県			宮城県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
31	16	前半	15	23	
	15	後半	8		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

茨城県のスローオフで試合開始。立ち上がりは両チームともシュートが決まらず膠着状態。均衡を破ったのは茨城県2番中西のサイドシュート。しかし、すかさず宮城県3番橋沼がカットインプレーで同点。試合は取ったり取られたりのシーソーゲームの模様を見せる。10分を過ぎ、茨城県3番藤井の連続得点などで、じわじわと差を広げる。宮城県も宮城県3番橋沼の鋭いミドルシュートなどで加点、最大4点差あった点差を1点差にまで縮める。22分、宮城県はついに同点に追いつき、5番のパスカットからのシュートで逆転。しかし茨城県も茨城県3番藤井らのスピーディーなプレーで再逆転。一進一退の攻防のまま茨城県の1点リードで前半を折り返した。後半も茨城県が先制するが、前半と変わらず拮抗した試合展開。8分半、退場者を出し一人少ない宮城県であったが、宮城県1番鈴木がファインセーブで点差を広げさせない。12分に退場者を出した茨城県も、取られたら取り返す粘り強い試合運びでゲームを崩さない。しかし、終盤に差し掛かり疲れの見え始めた宮城県。宮城県1番鈴木が堅守で奮闘するも、相手ミスを突き茨城県が次々と加点。茨城県が追いすがる宮城県をふり切った。

記載者氏名

井上 敬仁

送信日時

10月7日(金)

:

送信者サイン

秋室真樹

ハンドボール

No 24

第66回国民体育大会 ハンドボール競技
試合結果・戦評報告書

競技日	10月7日(金)	試合番号	E-1[E2]	回戦	1回戦
種別	少年男子	会場	周南市鹿野総合体育館(E)		

Aチーム名			Bチーム名		
愛知県			宮城県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
40	20	前半	10	26	
	20	後半	16		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

立ち上がり愛知県は3番竹内のロング、10番吉村の速攻により連取、その後は一進一退の攻防が続く、10分過ぎに愛知県は10番吉村の速攻、3番竹内のロングシュートにより2点差とする。17分すぎから愛知県の動きのよいディフェンスが機能し、1番キーパー本田の好守もあり、27分まで宮城県は得点できず、9点差となる。宮城県は、9番佐藤のサイドシュート、5番谷藤のロングで追うが、前半は20対10の10点差愛知県リードで終了した。

後半、宮城県は、点差がついても、最後まで闘志を失わず5番谷藤、2番佐山、9番佐藤の速攻により追いかけるが、愛知県も5番服部のロングシュートや速攻の活躍により加点し40対26と愛知県の優位は揺るがなかった。

記載者氏名

石田 真也

送信日時

10月7日(金)

:

送信者サイン

秋定真樹

ハンドボール

No 24

第66回国民体育大会 ハンドボール競技
試合結果・戦評報告書

競技日	10月8日(土)	試合番号	E-1[E2]	回戦	2回戦
種別	少年女子	会場	周南市鹿野総合体育館(E)		

Aチーム名			Bチーム名		
宮城県			香川県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
19	11	前半	13	30	
	8	後半	17		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

2回戦、立ち上がり攻守の展開が激しく、ディフェンスも堅く両者ともに得点が伸びない。宮城県はセット、香川県は速攻を主体として攻撃し、宮城県がやや優勢に試合を進めるが、香川県も離されず得点を挙げる。前半半ばから同点の争いになり前半22分ついに香川県が逆転する。香川県6番久原の速攻などで勢いを上げる一方、守りもより堅く、2点差で香川県がリードして前半が終了した。

後半、香川県が前半の勢いのまま8番内海のサイドシュートなどでリードを5点に広げる。宮城県も追いつこうとするが、厚いディフェンスや香川県キーパー12番深江の好守に阻まれ、点差を詰められない。終盤、さらに香川県が速攻を生かし、連続得点でリードを広げ、30-19の11点差で勝利した。

記載者氏名

山本 和信

送信日時

10月 8日(土) 13:35

送信者サイン

堀田 英里